



3D プリンターを活用した伝統産業支援 伝統産業支援のための3D プリンティング活用方法

技術分野分類 1651：デザイン学

技術キーワード 分割なし：工業デザイン（プロダクトデザイン）、デザイン設計支援

産業分類 E-23：非鉄金属製造業、E-32：その他の製造業

概要		デジタルエンジニアリングの手法の一つである3D プリンティングを伝統産業支援のための商品開発に取り入れ、多品種少量生産品、一品生産品による高付加価値化を推し進める新商品開発ツールとして活用する。
内容	従来技術・競合技術との比較（優位性）	当センターの樹脂用3D プリンターはナイロン樹脂を造形材料としており、この造形物を伝統産業支援の商品開発に取り入れている事例はない。また県内伝統産業の主軸となる鋳造、漆器分野において、鋳造原型や漆器素地としての強度、耐久性を満足するものであり、多くの樹脂用3D プリンターによる造形物では困難なものである。
	本技術の有用性	製品原型として一つの3D データ（デジタル原型）があれば、それを基にその時々の用途やニーズに応じて、「必要な形」で「必要なスケール」で「必要な数だけ」原型や製品を製作できるので、造形自由度が高く、効率的な多品種少量生産、一品生産が可能となり、製品の高付加価値化が図られる。
関連情報 (図・表・写真等)		<p>伝統産業における3D装置活用のニーズ</p> <p>商品開発へ応用</p> <p>3Dデータ化</p> <p>デジタル原型</p> <p>変形・スケール変更</p> <p>3D活用</p> <p>デジタル原型から必要な形で必要な大きさで必要な数だけ製作（多品種少量生産）</p> <p>3Dのメリットを活かした商品開発</p> <p>デジタル原型（フラワーベース用）</p> <p>デジタル原型（コースター用）</p> <p>3D変換</p> <p>フォルムの変形</p> <p>3D変換</p> <p>スケールの変更</p> <p>収納：ベンヌー・小物入れなどへ</p> <p>拡大：ランチョンマット・敷物などへ</p>
適用可能製品		伝統産業関連商品（主に鋳造、漆器関連商品）
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	住岡淳司 富山県工業技術センター 中央研究所 主任研究員
技術シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	富山県工業技術センター 企画管理部 企画情報課 TEL0766-21-2121/FAX0766-21-2402 kikaku2@itc.pref.toyama.jp

■知的財産

■試作品状況

無



提供可

作成日 2015年09月30日